

みなさん、こんにちは。2730 ジャパンカレントロータリーEクラブ第 29 回例会を開催いたします。さて、今月は「世界理解月間」ということはお話しさせていただきましたが、第29回例会の始まる23日月曜日はロータリーにとって重要な日となります。

今から110年前の1905年2月23日ポールハリスがユニティビル711号室で初のロータリー会合を開きました。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)として遵守され、この日、各クラブは国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。RI理事会はこの2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しております。この奉仕活動については、ロータリーでは5つの奉仕部門として分けられており、クラブ定款第5条にあります。

2730 ジャパンカレントロータリーEクラブ 定款から抜粋

第 5 条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

以上のとおり奉仕部門がそれぞれ決められておりますが、どれかだけ単独でおこなえばよいというものではなく、常にそれぞれの会員の心に留め、それぞれを常に結びつけることが重要であると思います。

その点から申しますと、ロータリー会員は会員である間、常にこれらのことを意識して私生活で、職業人としてあることが求められ、そうしたことで、最終的に社会の平和につながると思います。まだまだクラブとして歩み始めたばかりではありますが、徐々にクラブを訪れる方も増え、例会としてはようやく形になってきたのではないかと思います。今後、会員同士のつながりを深め会員全員が例会を楽しみにしていただくことができるようにすることが重要であると思います。

いよいよ次週次年度会長のための研修会PETSに桐明会長エレクトが参加をされます。この、研修はクラブ会長になるために漏れなく受けなければならない研修であり、この研修後、会長エレクトの元、次年度の計画が立てられていきます。それぞれの委員長を中心に会員皆様の惜しみない協力をお願いしたいと思います。

よろしくお願いいたします。